

天白区民まつり参加

前日のどんぐり祭りに続いて、天白公園にて区民祭りに参加しました。うす曇りの天気、昼ごろから雨が降る予想もあったため、朝から人出が結構ありました。

例年おなじみのがりがりトンボと竹トンボなどの森さんの作品、今年初めて参加してくれた塚口さんの体操人形、小鳥の置物などどれも子供が喜びそうなものばかりで、売れ行きも好調でした。

丸太切りと焼印ペンダントが定番の森くらぶですが、丸太の確保ができず、今年は松ぼっくりのエビフライペンダントに変更しました。ペンチとはさみでできる簡単さが売り物で、小さな子供たちに結構喜ばれました。

販売手伝いの村田さんも加えて総勢4人で秋の一日を楽しみました。ブースには、天白もりのフォーラムの面々に加えて東



海学園のボランティアのお手伝いも加わり、約180名のお客様の相手をしました。(大館)

巣箱の清掃&掛け替え

11月14日、森に入るとあちらこちらからカケスの鳴き声が聞こえました。昨年はこれほどではなかったので古澤先生に尋ねてみると、他の森でも今年はカケスが多いそうです。

昨年の調査で鳥は新しい巣箱を好む傾向が分かったので、古いものは廃棄することにして、夏に作った新しい巣箱を一輪車に乗せて出発。日だまりエリアでは2つが営巣に使われていた。見晴台の上空ではハイタカ2羽が旋回するのを目撃。しばらくするとミサゴが飛来。古澤先生の望遠カメラで撮った画像には

脚に魚をつかんだ姿が写っていました。

昨年は26個かけておいたので、それらを順次点検していったのですが、木々が生い茂り、探すのに苦労しました。竹林整備に追われて雑木林に手が回っていないのを実感しました。

また、カシノナガキクイムシに枯らされたコナラも多く、枯れた木に食い込んだ巣箱を降ろすのは大変でした。今年も尾根筋の見通しの良い場所の巣箱がよく利用されていたので、谷筋のものを上方に移動しました。

調査兼清掃結果は、営巣して



子育てに使われたものが5個、ねぐらとして利用されたものが6個、巣は作ったが途中放棄されたものが4個、空巣11個でした。ヤモリ7匹にも利用されていました。今年は新たに3個追加して計29個をかけておきました。来年度の利用状況が楽しみです。

(伊藤 晶)

11月定例活動 竹林の整備 & 竹炭用材づくり



11月定例会は恒例となった竹の間伐と竹炭用端材加工です。晴天の中、20人ほどのくらぶ員の参加で盛会となりました。

午前中、北側の山桜付近と山根

口付近に分かれて竹の間伐を行いました。また午後からは切り出した竹を加工して竹炭用端材を作りました。

私は、みなさんとは別に竹炭用端材の干し場を作りました。以前炭焼き釜の横に木造の小屋があり、この横に竹炭用端材を干すスペースが設けてありました。その後放火により小屋が焼失したので、干し場は消滅してしまっただけです。

干し場がなくなってからはメープル材を井桁状に組み上げて仮設の干し場を作ったのですが、釜から若干遠く、干した端材を釜に入れるのに不便していました。

今回釜に隣接して干し場を設置

出来たので炭焼き準備が随分楽になりました。また小屋周辺がござっぱりして景観上也良くなったと思います。

お屋には収穫したサツマイモを焼き芋を作りました。焼き芋は女性陣にはことのほか好評で、お昼休みの楽しみになっています。

小屋周辺が整備されていくことで、くらぶ員の憩いの場がより快適なものになれば嬉しいです。

さて、今回準備した端材は12月いっぱい屋外乾燥し、その後竹炭にします。今シーズンも上等な炭が焼けるよう願っています。

(村田 英)